

【令和2年度 ふるさと納税(応援寄附金)活用事業のご報告】

～人・自然・文化一島の宝が育つまち～

にしのおもてし
鹿児島県・西之表市(種子島)



【安納いも発祥の地:西之表市】



「ふるさと納税」は自分の生まれ育った故郷はもちろん、応援したい自治体の「地域の力になりたいという思い」を実現し、「ふるさと」へ貢献するための制度です。

平成20年度に「ふるさと応援寄附金条例」を制定し、毎年、全国から温かいご支援を頂いております。

【西之表市シンボルマーク】 令和2年度の 寄附金の総額は、183,767,783円、
寄附件数は、13,508件。

地域別では、北海道336件、東北398件、関東・甲信越6,738件、北陸159件、東海1,537件、関西2,522件、四国234件、中国499件、九州・沖縄1,085件となっております。ご寄附・応援を賜り誠にありがとうございます。

次の事業の財源として活用させていただきました。ご支援ありがとうございました。

【 地元産業の育成及び起業の支援に関する事業:9事業 】

■観光関連事業者見舞金給付事業



●新型コロナウイルス感染拡大による国の緊急事態宣言を受けて、本市が発した来島自粛により直接影響を受けた主に観光客等を対象とする事業者に対して、見舞金給付事業を行いました。

◆令和2年度:1事業者に対し、100,000円
45事業者

■安納いもバイオ苗増殖運営事業

●種子島高校生物生産科が増殖したバイオ苗(安納紅750本、安納こがね80本)を、市農業振興公社が再増殖を行い、生産者に対し健全苗を供給することで、収量確保及び品質安定を図る事業を行いました。

◆令和2年度:増殖用苗供給本数・30,660本



■安納いも育苗資材支援事業

●安納いもの種子島ブランド化推進及び農家の経営安定・規模拡大を図るため、バイオ苗の自家増殖用育苗施設等に掛かる経費(労務費は除く)の一部を助成しました。

◆令和2年度:パイプハウス6件

■創業支援事業

●商工会や金融機関等と創業者の支援を行うため、創業支援ネットワークを立ち上げ、創業に必要な財務・税務等の基礎的知識の習得やビジネスプランの作成支援を行う創業スクールを開催しました。◆令和2年度:スクール修了者5名

■援農隊マッチング支援事業

●人口減少と高齢化により農業労働力が減少し農繁期には働き手が不足しているのが現状です。市内農業者の労働力不足対策として機械作業以外の作業(ばれいしょ選別、安納いも収穫、肥料・農薬散布・草払い等)を手助けする援農隊(5名)マッチング支援事業を実施しました。



【 サトウキビ畑での農薬散布 】



【 牧草畑周辺の草払い 】

■アンテナショップPR事業

●本市の豊富な地場産品を有効活用し、農林水産物の地域ブランド力向上とともに新たな販路開拓に向けた取組として、東京オリンピック・パラリンピック2020を見据えて、東京浅草にアンテナブースを出展し、安納いもを使ったカフェでのコラボメニューの販売等を行いました。



【 アンテナブースの様子 】



【 コラボメニューのポスター 】

■漁業経営改善支援事業

●漁業者の操業意欲向上を図る目的で漁業経費の一部を助成しました。

◎燃油使用量が10,000ℓを超え、かつ、水揚げ回数が年間150回以上の漁業者に対して10,000ℓを超えた燃油使用量において1ℓあたり5円の補助

◎上記以外については、一律1ℓあたり3円の補助

◆令和2年度:受益対象者数91人・総燃油使用料396,938ℓ

■水産多面的機能発揮対策事業



【 藻場回復調査箇所 】

●西之表市沿岸海域において、藻場の減少(磯焼け)が発生しており、沿岸の水産資源の減少が加速しています。水産資源の回復のためには藻場の回復が必要・不可欠であるため専門機

関に調査を委託し、漁港7か所及び沿岸海域3か所の栄養塩等の調査を実施しました。

また、地元水産物の「魚食普及」のため、種子島中学校家庭教育学級を中心に、地魚のさばき方教室を実施しました。



【 家庭教育学級・地魚のさばき方教室 】

■漁場環境整備事業

●種子島漁業協同組合及び各小組合(種子島漁業協同組合の組合員で各地区に所属する漁業者をもって構成する組織)が共同で利用する施設・機器等の修繕及び更新に対しての一部助成を行いました。

◆湊小組合

湊漁港に整備している漁船用巻上施設の滑車の購入

◆下能野小組合

住吉漁港内に整備している漁業者用網小屋の長寿命化を図るため修繕

◆種子島漁業協同組合

加工施設内の冷凍保管庫にパレットによる積み上げを可能とするフレーム(型枠)の整備
◎整備数 3 基

◆種子島漁業協同組合

住吉漁港内に設置している冷凍冷蔵庫の更新



【 住吉漁港内に整備した冷凍冷蔵庫 】

【 次世代を育成するための子育て支援に関する事業: 4事業 】

■地域子育て支援センター事業

●子育て世帯の交流及び子育てに関する相談や子育て支援事業等に関する情報提供の拠点施設として、子育て支援センターを設置し、「交流」、「情報発信」、「相談」として、また、ファミリー・サポート・センター事業の預かりの場として、子育て世帯の負担軽減を図る事業を行っております。

◎情報提供・・・情報誌「にこにこ広場」発行

◎交流の場・・・子育て広場(プレイルーム)解放、出張広場の開催(毎月1回)

◎相談・・・・・・・子育て相談

◎療育支援・・・親子で一緒に遊ぶ「コスモス教室」の開催、「療育支援地域ネットワーク会議」各関係機関との連携、巡回相談、乳幼児健診の支援

◆令和2年度:延べ利用者数3, 203人



■子育て応援券支給事業

●本市では、赤ちゃんの出生をお祝いするとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、乳幼児の衣食に係る商品と交換することのできる1枚1,000円分の応援券を出生時に60枚(60,000円分)、満1歳の時に12枚(12,000円分)支給しています。

◆令和2年度:支給件数179件・利用枚数5,192枚

■放課後児童健全育成事業

●就労などにより、昼間、保護者が家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊びと生活の場として児童クラブを設置し、児童の健全な育成を図る事業を行っております。

◆令和2年度:利用児童延べ人数・34,532人
(登録人数184人)

【西之表市児童クラブ一覧】

- ◎榕城児童クラブ◎若宮児童クラブ
- ◎めいろう児童クラブ◎風本児童クラブ
- ◎古田っ子クラブ◎住吉児童クラブ
- ◎国上児童クラブ

■児童館管理事業

●市内2か所の児童館(かもめ児童館・美浜児童センター)を社会福祉協議会へ指定管理委託し、児童の遊び場として、安心安全な居場所づくりに努めています。

◆令和2年度:利用者数9,898人
(登録者数629人)



【 高齢者の生きがいづくり及び医療福祉に関する事業:3事業 】

■敬老の日記念事業

●西之表市在住の満88歳、満100歳、満101歳以上の高齢者の長寿を祝福するとともに、敬老の意を表し敬老金を支給しました。

◎満88歳:9月30日現在において満88歳である者10,000円・139人

◎満100歳:その年度において満100歳になる者50,000円・13人

◎満101歳以上:9月30日現在において満101歳以上である者30,000円・8人

■後期高齢者保健事業

●本市に居住している後期高齢者医療被保険者を対象に、長寿健診の受診率向上のための記念品(ごみ袋)の配布や、人間ドック施設利用とはり・きゅうの施術料の一部を助成することにより、後期高齢者の健康保持と福祉の増進を図りました。

◎記念品(ごみ袋)配布:【配布人数】622人

◎人間ドック利用助成:生活習慣病や疾病の早期発見・健康増進を目的として、「1日・2日人間ドック」、「脳ドック」、「PET検診」の施設利用者に対する助成

【利用実績】:人間ドック25,000円/人・26人、脳ドック20,000円/人・2人、PET検診・利用者なし

◎はり・きゅう助成:1日1回、1会計年度において1人60回を限度として、施術1回につき600円を助成

【利用実績】65人(764回)

■老人クラブ育成事業

●高齢者の生きがいづくりや健康づくりを推進し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を目的に市老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助を行いました。

◎市老人クラブ連合会:480,000円

◎単位老人クラブ:1団体48,000円(26団体)

【 学校教育の充実、人材育成に関する事業:2事業 】

■図書館図書整備事業(小学校)

●文部科学省の学校図書館図書標準に準じた学校図書冊数を目標に児童の多様な読書活動を推進するため、平成30年度から図書冊数を増やす「図書館図書整備事業(小学校)」を実施しています。

◆令和2年度:10校・1,111冊

◎榕城小学校34冊◎上西小学校35冊◎下西小学校49冊◎国上小学校409冊◎伊関小学校55冊

◎安納小学校42冊◎現和小学校63冊◎安城小学校47冊◎古田小学校31冊◎住吉小学校346冊



■教育用コンピューター導入事業

●子どもたちが情報化社会に対応できる資質と能力を育むために、学校のICT環境の整備を進めており、令和2年度は、市内全小学校10校にテレビ会議システムを導入し、遠隔授業による学校間交流が出来るようになりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している他校児童と一緒に学習をする合同学習が開催出来ない事態にもなりましたが、テレビ会議システムが市内各小学校の児童をつなぐコミュニケーションツールとなっております。また、国が掲げているGIGAスクール構想の実現に向け、ICT環境整備が一気に加速し、国の事業により、児童生徒一人一台端末の整備が完了いたしました。今後も本事業をとおして、教育現場のICT環境が、より一層充実するよう努めてまいります。

【 市外との交流の推進に関する事業:1事業 】

■スポーツ交流合宿誘致事業

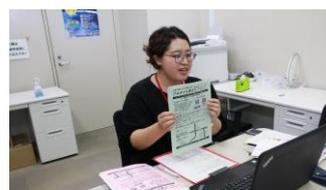
●スポーツ合宿の誘致による交流人口の増加を推進することで、地域経済の活性化を図り、市民の健康増進及びスポーツの競技力向上を目的とした取組をすすめています。令和2年度は、スポーツキャンプ・合宿受入向上講習会に2名参加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ合宿の申請・受入れはありませんでした。

【 集落の維持・機能強化に関する事業:2事業 】

■島ぐらし魅力発信事業

●本市の移住支援ホームページや携帯アプリ等を活用して、魅力ある島ぐらし情報を島外に幅広く発信しました。

また、移住・交流イベント等にオンラインで参加し、移住検討者から直接相談を受けることにより移住後の島ぐらし生活等を具体的にイメージしていただくことで、アフターコロナを見据えた移住誘引に繋げることができました。



【 地域おこし協力隊員による
オンライン相談会の様子 】



【 安城棒踊:十数年ぶりに復活
安城校区集落支援員より 】

■集落体制推進事業

●本市には12小学校区がありますが、各小学校区の抱えている課題は多種多様であり、各小学校区の区長を中心に地域の維持・活性化に向けた自治を行っています。本事業は、各小学校区の実情に応じた維持・活性化に向けた取組を推進するために、地域づくりへの関心が高く、地域に精通した集落支援員を配置し、地域内の目配り・気配り役として、課題の掘り起こし、課題解決に向けた話し合いの実施、行政との橋渡し、新たな地域おこしグループの起ち上げなどを行っています。令和2年度は、12小学校区のうち、榕城校区・上西校区・下西校区・国上校区・安納校区・現和校区・安城校区・古田校区の8校区に9人の集落支援員を配置し、各校区の地域力向上に向けた様々な活動を展開しました。

【 循環型地域づくり及び環境保全に関する事業:7事業 】

■酪農スラリー堆肥化推進事業

●本市が策定した分散型エネルギーインフラプロジェクトマスタープランにおいて、有機廃棄物系バイオマスを活用したバイオガス発電施設導入の検討をしており、その主原料として期待されているのが酪農で発生するスラリー(液状糞尿)です。バイオガス発電の過程で発生する消化液には、肥料成分が含まれていることから、牧草の液肥として活用できないか検証を行いました。

◆令和2年度:実証圃設置1件(牧草)

■ごみ減量化推進事業

●生ごみ減量化を推進するため、家庭用生ごみ処理機の設置に対する補助を行いました。

◆令和2年度:コンポスト12件
電動生ごみ処理機3件

■合併処理浄化槽設置促進事業

●河川と海の水質保全のために、合併浄化槽設置に対する補助を行い、合併処理浄化槽設置の推進を図りました。

◆令和2年度:5人槽65基・7人槽4基
10人槽1基

■花とみどりのまちづくり推進事業

●花とみどりのまちづくり事業を展開し、花とみどりを活かした景観づくりに積極的に取り組んでいる各地域の26団体への花苗等の配布及び公共施設への花の植栽等を行いました。



■ボランティア清掃事業

●市では、環境美化についての関心と理解を深めるため、5月の第3日曜日と12月の第3日曜日を「環境美化の日」として定めております。市民総参加の海岸清掃・道路清掃を通して、海岸線に漂着したごみや捨てられたごみなどを知ることによって、ごみに対する考え方や自然を守ることの大切さを学ぼうとするものです。ポイ捨てや不法投棄などを市民みんなで少なくしていく運動をさらに強めていきたいと考えています。

◆令和2年度の市民一斉海岸清掃を5月、市民一斉道路清掃を12月実施の予定で準備をすすめていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

■ウミガメ保護事業



●鹿児島県ウミガメ保護条例によりウミガメの保護を図るため、保護監視員による上陸・産卵・盗掘等の調査を行いました。

◆令和2年度:上陸頭数196頭
産卵138・盗掘:なし

■海岸漂着物地域対策推進事業

●市内海岸線の環境美化のため、鹿児島県において定められた重点区域を中心とした、市内17か所の海岸において漂着物の回収を行い、可燃物、不燃物に分別のうえ、種子島清掃センター及び民間の施設で処理を行いました。不法投棄の監視及び海岸漂着物等の漂着状況等の監視を目的とした巡視を月2回程度実施しました。◆令和2年度:回収量51トン

【 その他・市民福祉向上のために市長が必要と認める事業:6事業 】

■妊産婦・乳幼児健康診査事業

●子ども・子育て支援事業計画に基づき、乳幼児健康診査・歯科検診を実施し、身体・精神の発達状況の把握や病気の予防・早期発見に努めました。また、妊産婦健康診査受診券の発行による健診費用の助成や、母子手帳交付時に歯科検診を実施し妊婦の健康増進を図りました。

◎対象者:乳児、1歳6か月児、3歳児、2歳児の乳幼児及び妊娠届出書を提出し母子手帳交付を受けた妊婦

◎実施方法:乳児健診は月1回、1歳6か月健診及び3歳児健診は2か月に1回実施、2歳児歯科検診は2か月に1回(令和2年度は新型コロナのため年2回)実施

・月2回の母子手帳交付時に妊婦への集団歯科検診を実施

・妊婦健診14回分及び産婦健診2回分、新生児聴覚検査の受診券を発行
(受診券については、県外等で受診される方は償還払い)

■西之表市史編さん事業

●市民が郷土の歴史を知り、本市の歴史文化や文化財、自然に対する誇りと愛着を深めるため、編さんのための各種会議を開催し、専門家等による史資料調査・収集、原稿執筆により『西之表市史』の編さん・発行を行います。

令和2年8月には編さん状況の報告を兼ねた講演会を新型コロナウイルス感染対策を講じた上で開催、約50人が来場し、本市の自然や歴史について学ぶ良い機会となりました。

編集委員会は書面で2回、西之表市で1回の計3回開催し、執筆に向けた協議を行いました。

市史編さんだよりは、4回発行し、第1号は班回覧、第2号以降は市内に全戸配布を行いました。

令和2年12月7日～令和3年1月5日にかけて、鉄砲館で企画展「市史を編む」を開催しました。市民、出郷者等から提供された古写真などの資料は、約700点にものぼりました。



【 編さん状況の報告及び講演会 】



【 鉄砲館・企画展「市史を編む」 】

■港町再生検討推進事業

●西之表港を後背地として発展してきた中心市街地にて「世代を超えたふれあいによって宝をはぐくむみなとまち」の実現に向け、現況幅員で安全で歩きやすい道路空間について、一方通行による社会実験の実施と商店街の方々とのまちづくりワークショップ等を開催しました。



【 一方通行による社会実験(準備・当日)の様子 】



【まちづくりワークショップの様子】

■図書館運営事業



【 学校へのお出張読み聞かせ会の様子 】

●西之表市立図書館は、旧合同庁舎の2・3階で運営しています。1階には榕城児童クラブ、子育て支援センターがあることから、常に子供たちが来館し、各自で本を読んだり勉強をしたりする姿が見受けられます。

令和2年度実績で、来館者数13,448名、利用者数(本を借りた人)7,679名、蔵書数28,435冊となっており、本の貸出のほかに、親子読書会(毎月第2土曜日)や児童館などへのお出張お話し会、ブックスタートを行い、幼児期から読書に親しむ子どもの読書推進のための取り組みを行っています。

移動図書館車を月3回、3コースで巡回しており、図書館まで出向けない方への読書支援や施設等への団体貸出を実施しています。相互貸借の取り組みとして、学校や保育園へのブックコンテナ巡回や県立図書館との相互貸借の支援も行っています。また、令和2年度から地域の高齢者サロンへ出向き、落語や紙芝居などを行い、大変好評をいただいております。

このように、市民全体が市立図書館を利用して、生涯学習活動のひとつとして読書に親しみ、知的好奇心を満足させられる取り組みを行うことで、市民の読書推進に取り組んでおります。

■プレミアム付き飲食店応援券発行支援事業

- 市では新型コロナウイルス感染症の感染拡大により発令された緊急事態宣言によって大きな影響を受けた市内飲食店への支援として、20%のプレミアム付き飲食店応援券を発行しました。
- ◎プレミアム率20%・1冊6,000円分(500円券×12枚)の応援券を5,000円で市商工会が販売
- ◎3,000セット限定発売、市内の参加する飲食店で利用可能、飲食店が提供するテイクアウト(持ち帰り・配達)や先払いチケットにも利用可能、西之表市民のみ購入可能(上限なし)

■たねがしまるブランド推進事業

- 首都圏での本市特産品の認知度を高めるため、東京メトロにおいて、駅構内での動画放映やポスター掲示、銀座線車両内での窓上ポスターを掲示し、PRに努めました。
- ◎駅構内ポスター掲示:東京メトロ22駅
- ◎動画放映:ヤフートップページ東京23区エリア全域+東京駅、銀座駅、赤坂見附駅、中野坂上駅、赤坂駅、虎ノ門駅、新宿駅



【 駅張りポスター 】



【 銀座線:窓上ポスター 】

令和3年度も引き続き、**熱いご支援**を賜りますようお願い申し上げます。

ふるさと納税で、
～西之表(にしのおもて)が元気に!～

【ふるさと納税(応援寄附金)のお願い】

- ふるさと納税を財源として、子育て支援に関する事業はもちろんのこと、次世代の人材育成に関する事業・**学校教育の充実を図る取組を推進**します。



西之表市長
八板 俊輔

西之表市は、九州南端の大隅半島から約40kmの沖合にある鉄砲伝来やロケットで有名な種子島の北部にあるまちです。種子島の豊かな大地が育んだ「安納いも」をはじめ、「島の宝」をお届けします。

【連絡先】鹿児島県・種子島 西之表市(にしのおもてし)
経済観光課ふるさと納税推進係
☎:0997-22-1111 内線(275)
FAX:0997-24-3111
係 mail: furusato@city.nishinoomote.lg.jp



【ふるさと納税のご案内】